

八溝多賀木材乾燥協同組合 木材乾燥施設倉庫棟

非住宅開拓に向けた、BP材によるモデル的な施設



■ 建築概要

所在地 茨城県常陸大宮市宮の郷2153-22
構造・階数 BP材による木造軸組構造・平屋建
事業費 178,054千円
工期 令和4年5月～令和4年9月
施工者 (株)角幸

施設用途 木材乾燥施設（建築構造材） 倉庫棟
延床面積 484.84㎡
木工事費 55,658千円
設計者 ICA建築設計事務所 塚本 博幸
EOS建築事務所 天 茂彦
木材供給者 (株)茨城木材相互市場、(株)林産、(株)皆川製材所、
(株)銚田製材所、(株)野上製材所

■ 施設の概要・特徴

非住宅・中高層分野における木造化・木質化の普及が進み、新しい材料として芯持ち正角材を特殊接着材で圧着したBP材（束ね重ね材）が普及しつつあります。本施設はBP材の生産工場に隣接し、主要構造部にBP材を使用したモデル施設であるとともに原材料や製品を保管する倉庫を兼ねています。本施設は、生産過程を含めた施設の見学も受け入れるなどBP材の普及に資する施設となっています。

■ 使用した木材や工夫した点

本施設はシンプルな架構・平面計画としています。大規模な木造施設を普及するには、特殊な構造より、シンプルで合理的な構造で施工性も容易であることが重要と考え、できる限り汎用性のある架構及びデザインとしました。BP材を構造材（柱・梁）に使用することで、比較的長いスパンの木造建築物を容易に施工できることを示す事例となるようデザインしています。

樹種	使用量 (うち県産材)	使用部	備考
スギ	140.93㎡ (140.93㎡)	構造材・羽柄材	柱・梁は BP材を使用
ヒノキ	1.53㎡ (1.53㎡)	構造材(土台)	
その他	11.92㎡ (0㎡)	屋根	野地合板
計	154.38㎡ (142.45㎡)		

